

“積丹町の財政・産業・教育”などを学ぶ！

～北星学園大学3名の学生が就業体験～

10月19日から23日の5日間、北星学園大学(札幌市)の学生3名(教員2名)が、役場で就業体験(インターンシップ)を行いました。

町の財政状況、住民票等発行窓口業務やIP電話の機能や操作方法などを学びました。

また、町職員3名との意見交換会では、公務員の社会人としての先輩から、貴重な経験談や働くことの意義を学んでいました。

3名の学生たちは、「役場の仕事がこんなに幅広く行われていることを知って、とても驚いた。公務員として働く町職員から貴重なお話を聞いて、とても勉強になりました。今回のインターンシップで学んだことを今後の学校生活や就職活動につなげていきたいと思います。」と話していました。



◀町職員との意見交換会



～学生3名を紹介～

- | | | |
|---|----|-------------|
| ① | 木村 | 七海さん(4年) |
| ② | 三井 | 郁弥さん(3年) |
| ③ | 小幡 | ももか百香さん(3年) |

札幌法務局小樽支局「登記・相続に関するQ&A」No.9

◆第9回「亡くなったおじいちゃんの家が登記されていない。どうしたらいいの？」

Q：亡くなったおじいちゃんの家が登記されていない。どうしたらいいの？

A：建物の形状等を表す「建物表題登記」は基本的に登記申請をしなければならないという法律があります。登記をしていない建物の場合、時間が経つにつれ所有者を証明することが困難になることがあります。例えば所有者が亡くなり、相続人の間で相続する人を決めた後も登記をしていないと、売買ができないほか、さらに相続が発生した際、所有者であることを証明することが更に困難になってきます。今回のケースについては、次のような対応方法が考えられます。

(1) 相続人の皆さんで話し合い(遺産分割協議)、建物を相続する人を決めて、建物表題登記申請を行う方法です。この手続には、法律で定められた建物の図面を作成し、おじいさんが所有者であったことを証明する書類や遺産分割協議書の添付等が必要となります。

(2) (1)のような相続人の中での話し合いがつかなかったり、所在不明の方がいる場合、相続人全員の法定相続持分で建物表題登記を申請することもできます。

今回のようにお困りの場合、お近くの土地家屋調査士又は札幌土地家屋調査士会にご相談してください。

次号は「建物を取り壊した場合、登記はどうするの？」をお知らせします。

【問合わせ先】札幌法務局小樽支局 TEL 0134 - 23 - 3012

北後志消防組合積丹支署

更なる技術向上へ日々訓練！ No. 29

解体建物での実戦訓練

北後志消防組合積丹支署（俵谷支署長・署員18名）では、9月2日から3日間、消防訓練を行いました。

日頃、消防庁舎を使用し、訓練を実施していますが、今回は解体予定の多茂木地区旧町営住宅を活用して、よ



り災害現場に近い臨場感のある訓練を実施することができました。
この訓練では、スモークマシンを使用して居室内を煙で充満させ、何も見えない状態で防火服に呼吸保護器具を装着した隊員が、逃げ遅



れた要救助者（ダミー人形）を建物内から救出する訓練やエンジンカッター、チェーンソーなどでドアや屋根を破壊する訓練を行いました。
訓練に参加した隊員からは「実際の建物を使用した訓練はなかなかできないので、この経験を今後の現場でも活かしていきたい！」と意気込みを話してくれました。
こうした訓練を今後も継続して、隊員の現場対応能力の向上と町民が安心して暮らせる町づくりへの貢献に努力していきます。

高所からの救出訓練

10月12日から3日間の救助訓練では、屋根や車庫の上で救助を待っている人がいるという想定で、要救助者を安全で迅速に地上へ救助する方法を確認しました。

訓練に参加した隊員たちは、想定が終わるごとに何が一番要救助者にとって良いのかを確かめ合い、さら

隊員間の連携を深めることができた貴重な訓練でした。



— 余市警察署交通安全通信 —

◆冬型事故の防止◆

11月や12月の気温は0℃の付近で変化します。そのため、乾燥した路面が降雪や降雨によって部分的に凍結し、運転手は急な路面の変化に対応出来ずスリップしてしまいます。

凍結しやすい場所は、橋の上や交差点付近、トンネルの出入口付近などですが、夜間は特に発見が難しくなります。

スリップによる死亡事故で最も多いのは『直線で普通車が対向車線にはみ出し、中型・大型車と正面衝突する事故』です。衝突直前の速度が40 km/hを超えると死亡事故の割合が高くなります。時間と心にゆとりをもって運転すると共に、『急ハンドル』『急ブレーキ』『急加速』をしないように気をつけましょう。



【問合わせ先】余市警察署交通課 TEL0135 - 22 - 0110

まちの日記帳



原子力災害を学ぶ！

美国小「1日防災学校」開催

9/25

児童が災害時に自分の命を守る意識を持ち、行動できるようにすることを目的とした「1日防災学校」が、9月25日に美国小学校体育館で開催されました。

当日は、地震・津波を想定した避難訓練の一環として、町総務課防災担当者から「災害と学校」と題した原子力災害についての講話が行われ、美国小学校児童41名、教員等12名が参加しました。

防災担当者からは、災害の種類によって避難の方法が異なること、原子力災害が発生した際には美国小学校が町民の避難所となること等の説明があり、参加児童は、災害時には先生や大人の指示をよく聞き、落ち着いて行動することを再確認しました。



練習の成果を発揮！

第19回郵便局長杯ゲートボール大会

10/3

ふれあいゲートボール場で第19回積丹町郵便局長杯ゲートボール大会が行われ、4チーム計16名が普段の練習の成果を発揮し、白熱した戦いでした。

大会結果は次のとおりです。

優勝 Cチーム (代表 戸来 幸彦)

準優勝 Bチーム (代表 新井田 明見)

第3位 Dチーム (代表 岡崎 一美)



ふる里の自然を満喫！

山岳愛好会秋山登山会

10/11

10月11日に積丹山岳愛好会が「積丹山岳秋山登山会」を実施しました。

当日は町民ボランティアと児童約15名が参加しました。

登山初チャレンジの児童もいましたが、登山中はお互いに励ましながら山頂をめざしました。

途中でリタイアする児童もなく、登り・下りを8時間をかけて、達成しました。

児童たちは郷土の素晴らしい自然を全身で感じていました。

